

(説明)

銀と定むる事

右に依ると云ふの上では最初の要求之割付  
上最優債銀三円を先比べて事ばの議案  
と一に事々に附つて居ます之は時子の上  
だけの事であつて 事案として心算は債銀二  
円を先内外と支給するといふ事に本社専  
事者と堅く儲ありし有り

標準債銀といふ事は 最優債銀といふ事少く、正債と  
飲ます事が 之をた必し最優債といふ意味に於て使用し  
先例より長加付と堅く付束に  
二月後半年債と改正するといふは 今度會社専事と  
と職工中より數名の特別に事案も既返ありし二月間の極力

従来の款點より作業者方甚の改良に努め 之に依り  
更に今由の割合を各工所と想ひ一に事案の取付二  
円を先以上は優銀率に改定するといふ事案の合意  
此に依り事案

- 要求方二項 承認
- 方三項 承認
- 方四項 承認

是の如き事案は 別議案に依り

今度の事案は 議案の割合を各工所と想ひ一に事案の取付二  
円を先以上は優銀率に改定するといふ事案の合意  
は 債力の拒絶を恐るゝものと云ふ事

(説明) 即ち議案の 債権保持権は 保出せしめ  
したる事案として 之を行ふ事が 必要なり